

*** 美しい心とたくましい実践力のある子ども ***

秋迎十イブ! 2023

勇気を出して一歩前へ
やさしく美しく
明るく元気いっぱい
前向きに努力

大館市立釈迦内小学校
令和5年11月9日(木) No.21

「自立とは自分の食事を作れること」 ～6年生「弁当の日」&PTA講演会～

1日、6年生が「弁当の日」を実施しました。「弁当の日」とは、子どもが自分でお弁当を作って学校に持ってくるという取り組みです。

何を作るかを決めることも、買い出しも、調理も、弁当箱に詰めるのも、片付けも、子どもがします。親も先生も、その出来具合を批評も評価もしないという約束です。

実施に先立ち、10月27日に、家庭科で「お弁当おかず作り講習会」を開催しましたが、当日まで子どもたちがどんなお弁当を作ってくるのか、朝寝坊しないか、弁当づくりを忘れないか心配でした。

しかし、さすがは6年生。丹精込めて作ったお弁当が勢揃いしました。子どもたちに負けずと、担任の先生はもちろん、私も弁当を持ってきて、子どもたちと見せ合いっこ。おかず自慢や苦労話をしながらみんなで楽しく会食しました。

その後、お弁当づくりを通して「食べるということ」について交流会を行い、弁当づくりで工夫した点や大変だったこと、気付いたことを話し合いながら、お家の人への感謝やこれから自分ができることを確認しました。早くも2回目はどんな弁当を作ろうかというつぶやきもありました。お弁当をつくりながら、親子の楽しい会話が生まれたのではないのでしょうか。



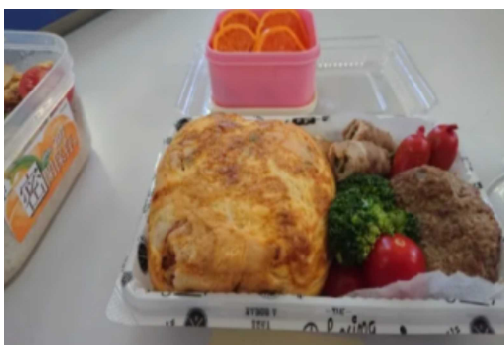
午後からは、「弁当の日」を提唱した竹下和男先生の講演会。

「弁当の日」の取り組みを通じ、子どもたちは感謝の心を知り、自己肯定感が育まれ、失敗の中から多くを学び、生きる力を身に付けます。

大人たちは見守る大切さを知り、子どもの成長を通じて子育てが楽しいと思えるようになります。

すると家族団らんが増え、家庭に笑顔があふれるようになるというお話でした。

今回の先生のお話が、PTA会員のみなさまと子どもたちの心に響き、自分で朝ごはんをつくることのできる釈迦内小の子どもが少しでも増えてくれたらいいなと思います。





消防署のひみつを大発見！

～3年生「大館市消防本部見学」～



1日、3年生が社会科「火事からくらしを守る」の学習の一環として、大館市消防本部の見学に行きました。

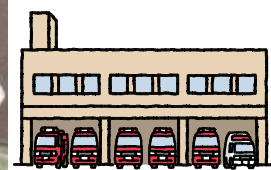
火事や事故にすばやく対応するための消防署の施設や設備の工夫、働く人々の仕事や働きなどを見つけに行きました。

救急車には、電気ショックで心臓を動かす機械や血圧を測る道具などがたくさん積まれていました。

ポンプ車には、2500Lの水が積まれているのにビックリ。しかし水槽車には、なんと10000Lもの水が積まれていると聞いてさらに驚いていました。

通信指令室や普段の訓練について等、たくさんの説明もしっかり聞いて、熱心にメモをしていました。消防署で働くみなさんのたゆまぬ努力と工夫をたくさん見つけ、大満足で帰って来ました。

お忙しいところ対応してくださいました方々に感謝申し上げます。



がんばりました

○第38回大館北秋田児童生徒社会科研究発表会

- ・2年 笹村 明音 「秋田のご朱印を集めて調べよう！！」
- ・4年 笹村 真白 「秋田のご朱印について」
- ・5年 庄司 望逢 「保ご猫、保ご犬、さっしょ分について」
- ・3年 若松優加子 「松原ニンニョ様のひみつ」
- ・6年 若松 大地



○令和5年度大館北秋田読書感想文コンクール

- ・【入選】2年 本田 優芽 「あい手を思うやさしい心」
- ・【入選】5年 近藤 佳央 「深い森の山猫店」
- ・【佳作】4年 泉 駿太郎 「まほうのようなあしたの日記」



○第34回MOA美術館児童作品展（絵画の部）

- ・【銅賞】3年 高谷 愛菜
- ・【銅賞】4年 貝森 詩音

